

日 時: 令和3年12月14日(火) 12:30~16:00
15日(水) 9:00~16:00

会 場: ポリテクセンター中部(愛知県小牧市)

目 的: 未来を担う若者に建設業の魅力を発信し、入職促進を図ることを目的とし、中部管内(岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)の産官学が一丸となり、建設産業全体で担い手確保の取組を実施するもの

内 容: 中部地区の高校・専門校の生徒等を対象として、12職種の建設専門工事業を実習体験する

参 加 校: 9校(岐阜県立岐南工業高等学校、静岡県立浜松工業高等学校、愛知県立愛西工科高等学校、愛知県立名古屋高等技術専門校、愛知県立東三河高等技術専門校、愛知県立豊橋工科高等学校、名古屋市立工芸高等学校、名古屋工業高等学校、東海工業専門学校金山校)

参加人数: 326名

体験職種: とび土工・土木、型枠、鉄筋、内装、タイル、塗装、左官、カッター、圧接、クレーン、重機、PC



▲堀田中部地方整備局長会場視察



▲鉄筋ガス圧接の体験実習



▲クレーン操縦体験実習



▲コンクリート板の穴あけ体験実習



▲左官体験実習



▲鉄筋結束の体験実習



▲塗装体験実習



▲出展企業の皆様

＜参加者を対象としたアンケート結果より＞

- ・体験を通しての学びは知識として定着しやすく、職業観を養う良い機会となった。
- ・様々な職業の体験は、将来の進路について考える上で大変参考になった。
- ・コロナの影響で職業体験できる機会が少ない中、職人の皆様から直接話が聞ける貴重なイベントであった。

担い手確保・育成の取り組み

第4回 建設専門工事業 合同体験フェア

開催の趣旨・狙い

高校、専門校の教諭、生徒を招待し、建設専門工事業のデモンストレーションや実習体験を行うなど、将来の進路を決定するための参考となるイベントを目指すもの。また一般来場者へも公開とし、建設専門工事業について広く知ってもらい、業界への理解を深めてもらう。

業界：明日を担う若者たちに建設業のことを知って欲しい！
生徒：建設専門工事業ってナニ？ どんなことをするの？
先生：建設業界って若い人を大切に育ててくれるの？

建設専門工事業と高校生・高校教諭等との
マッチングの場を提供

開催日程等

日時：令和元年10月24日(木)9:00～16:00 会場：ポリテクセンター中部(中部職業能力開発促進センター)〈愛知県小牧市〉

主催：建設産業専門団体中部地区連合会

協賛：(一社)日本建設業連合会中部支部、愛知・岐阜・三重・静岡各建設業協会

後援：国土交通省中部地方整備局／愛知労働局／愛知県／愛知県教育委員会／中日新聞社

内容：東海4県の高校・専門校5校(※1)の生徒158名による12の専門工事業(※2)の実習・体験

※1 参加校：岐阜県立岐南工業高等学校、名古屋市立工芸高等学校、愛知県立一宮工業高校、同名古屋高等技術専門校、同東三河高等技術専門校

※2 業種：型枠、鉄筋、内装、とび土工・土木、左官、タイル、PC、塗装、カッター、圧接、クレーン、重機

◆会場は一般公開。どなたでも参加可能。



↑中部地方整備局副局長、
建専連会長等が参加した開会セレモニー



↑鉄筋のガス圧接の体験実習



↑塗装の体験実習



↑クレーンの操作体験

＜参加した先生、生徒等を対象としたアンケート結果より＞

- ・先生の100%、生徒の94%がまた参加したいと回答。生徒の89%が将来的に建設業の仕事に就くことを希望。
- ・「実際に働いている方々の様子や業務内容について身近に感じ、知ることができた。」
- ・「自身がこの職業に合うかなど、就職活動をするに当たり判断材料になった。」

担い手確保・育成の取り組み

第3回 建設専門工事業 合同体験フェア

第3回

明日に花咲く、人づくり

建設専門工事業

合同体験フェア

～つくって確かめよう！あなたの未来～

開催の趣旨・狙い

高校、専門校の教諭、生徒を招待し、建設専門工事業のデモンストレーションや実習体験を行うなど、将来の進路を決定するための参考となるイベントを目指すもの。また一般来場者へも公開とし、建設専門工事業について広く知ってもらい、業界への理解を深めてもらう。

業界：明日を担う若者たちに建設業のことを知って欲しい！

生徒：建設専門工事業ってナニ？ どんなんことをするの？

先生：建設業界って若い人を大切に育ててくれるの？

建設専門工事業と高校生・高校教諭等との
マッチングの場を提供

開催日程等

日時：平成30年11月12日（月）9:00～16:00 会場：（メイン会場）オアシス21銀河の広場 （屋外会場）栄広場

主催：建設産業専門団体中部地区連合会

主な内容：◆東海4県の高校・専門校6校（※1）の生徒240名による12の専門工事業（※2）の実習体験

※1 参加校：岐阜県立大垣工業高校、静岡県立浜松工業高校、名古屋市立工芸高校、学校法人名工学園名古屋工業高校、愛知県立名古屋高等技術専門校、同東三河高等技術専門校

※2 業種：型枠、鉄筋、内装、とび土工・土木、左官、タイル、PC、塗装、カッター、圧接、クレーン、重機

◆会場は一般公開。どなたでも参加可能。



↑河村名古屋市長、勢田中部地方整備局長、佐川建専連会長等が参加した開会セレモニー



↑鉄筋の結束の体験実習



↑特設ステージで仕事や業界のPR、公開実習



↑栄広場での重機（油圧ショベル）の操作体験

＜参加した先生、生徒等を対象としたアンケート結果より＞

- ・先生の100%、生徒の90%がまた参加したいと回答。生徒の80%が将来的に建設業の仕事に就くことを希望。
- ・「実際にいろいろな仕事を体験できて楽しかった、おもしろかった」という意見が多かった。

担い手確保・育成の取り組み

建設専門工事業合同体験フェア



開催の趣旨・狙い

専門工事業という専門性の高い業種について、主に高校、専門学校教師・生徒の皆様、実際に作業を体験して頂き、建設業の魅力を実感して頂くためのイベント

業界：明日を担う若者たちに建設業のことを知って欲しい
生徒：建設専門工事業ってナニ？ どんなことをするの？
先生：建設業界って若い人を大切に育ててくれるの？

専門工事業と高校生・高校教諭との
マッチングの場を提供

開催日程等

日時：平成29年5月31日（水）9:00～18:00

会場：吹上ホール（名古屋市千種区吹上2-6-3）

内容：

- ◆東海4県の高校・専門学校7校の生徒さん320名による専門工事業の実習体験（公開）
→型枠、鉄筋、内装、とび土工・土木、左官、タイル、ダヤモトの7業種 <プロの職人さんからの指導>
- ◆5の建設専門工事業について、来場された方等を対象に、それぞれのブースで仕事内容等を紹介



第1回建設専門工事業合同体験フェアの開催



国土交通省中部地方整備局

建設専門工事業の中身を広く知っていただくため、建設専門工事業者と高校生、高校教諭の皆さんのマッチングの場となることを目的として開催

日 時 平成28年5月31日(火)

参加者 中部圏高等学校等の教師・生徒約100名

内 容 ○名古屋市立工芸高等学校建築システム科の生徒40名による型枠・内装工事の実習体験の公開
○会場内設置の10種類のブースにて各建設専門工事業を来場者に紹介
○高校教諭・労働局からの業界へのレクチャー

